

平成29年度

**全国学力・学習状況調査の
結果について**



平成29年12月
海老名市立海老名中学校

目次

| | |
|--------------------------|------|
| 全国学力・学習状況調査について | P. 1 |
| 「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」 | P. 2 |
| 「数学に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」 | P. 3 |
| 「生徒質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」 | P. 4 |
| ご家庭で取り組んでいただきたいこと | P. 5 |



資料 学習・生活習慣と学力との関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童・生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
(教科に関する調査、児童・生徒質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【学校生活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的な生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて学習をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家の人、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的な生活習慣】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査(平成23年度は震災の関係で実施を中止)でしたが平成25年度から再び、全国すべての小中学校が対象となりました。

◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

◆ 調査の対象

国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒

- ・ 小学校第6学年
- ・ 中学校第3学年

◆ 調査内容

- (1) 教科に関する調査

【小学校】

- 国語A・算数A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・算数B (主として「活用」に関する問題)

【中学校】

- 国語A・数学A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・数学B (主として「活用」に関する問題)

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

- (2) 児童生徒に対する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

- (3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

◆ 調査実施日

平成29年4月18日(火)

海老名市の結果は
こちらから



国語に関する調査結果

国語 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

○目的や状況に応じて語句を選択する、文章の構成を工夫するなど、自分の考えを相手に分かりやすく伝える力にすぐれています。

○古典の知識や行書の書き方といった伝統的な言語文化への造詣が深いです。

《努力を要する所》

○文脈に即した漢字の読み書きに課題が見られます。特に書く問題に関しては、他の項目より正答率が低く、無解答率が顕著に高くなっています。

○「読むこと」では文学的な文章において登場人物の描写をしっかりと読み込む力を身につけることが必要と考えます。

国語 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

○「書くこと」の設問に高い正答率を示しました。特に目的に応じて必要な情報を集め、それを整理して文章を構成する力が身につけています。授業の中で感想文や意見文、要約文などに日常的に取り組んできた成果だと考えられます。

○「活用」する力を問われる国語Bでも、無解答率が低く、設問に真摯に取り組む姿勢がうかがえます。

《努力を要する所》

○比喩などの表現技法をとらえる力に課題があります。知識として表現技法を覚えるだけでなく、文学的文章を読む際に内容理解に加えて表現の特徴についても読み取る力が求められます。

これまでの取組から

○スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッションと各学年で系統立てて取り組んでいます。状況に応じて相手に分かりやすく伝えるという点において成果が表れていると考えられます。

今後の具体的な取組について

○昨年度に続き、言語の知識・理解・技能の設問において課題がみられました。漢字の小テストは現在も定期的に行っていますが、繰り返し学習することで漢字の定着を目指します。また、文章を読んで心に残った言葉や文、感想などをノートに書き留めておき、それを基にしてグループ学習を行うなど、言語に関する思考を深めていく指導につとめます。

数学に関する調査結果

数 学 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 正負の数・文字式・方程式など、計算力はしっかり定着しています。
- 一次関数の意味を理解し、グラフや表から式を求めることができます。
- 確率に関しても、サイコロ・くじとともに、その仕組みを理解し求めることができます。
- 図形の仮定、合同条件を理解しています。
- 全体的に定着度は高く、計算も正確にできる、関数で関係を表す事柄を式に表すことができます。

《努力を要する所》

- 数量の関係を一次方程式で表すことには、課題が残ります。
- 空間図形の空間認知力にやや課題が残ります。
- 資料の整理で、言葉の意味を正確に理解する必要があります。

数 学 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、数量の関係を式に表したり、その次を予測することができています。
- 表やグラフを基に事象を考察する場面では、正確に読み取ることができます。
- 図形の証明や、求角が正確に理解できています。

《努力を要する所》

- 記述式の設定において、数学的な表現を用いた理由の説明や、式の意味などの説明などに課題があります。
- 資料の整理では、根拠や特徴などを説明する語彙力に課題があります。

これまでの取組から

- 正確でスピードのある計算力と、あきらめずに最後まで取り組むことができます。そのため、記述式の設定に対して全国平均より正答率が高く、無解答率もすべての設問で低い結果につながっていると考えます。

今後の具体的な取組について

- 数学的な表現を用いて説明する場面をより多く設けて、課題解決の方法を説明する場面を多く作ります。
- 計算力のさらなる定着を目指し、ケアレスミスをどれだけ減らすことができるのか、練習を継続していきます。



生徒質問紙の結果より

学習について

《よかった所》

○土日も含め、家庭で勉強する生徒が多く、計画を立てて取り組んでいます。内容は復習よりも予習をよく行っています。

○学校で好きな授業があると答えた生徒が87.4%で、全国や県を約9%上回っています。

《課題と思われる所》

○国語の授業はよくわかると答えた生徒が84.3%で全国や県を上回っています。しかし、自分の考えを他の人に話したり、文章にするのは難しいと考えている生徒が多く見られました。

○正確でスピードのある計算力、最後まで取り組む姿勢があるのに、数学への関心が全国に比べて少ないです。記述式の設問に対し数学的な表現を用いた説明などに課題があります。

生活について

《よかった所》

○基本的な生活習慣がきちんと出来ている生徒が多く、規範意識も高く96.8%の生徒が規則を守っていると答えています。

○物事を最後までやり遂げて嬉しかったことがあると答えた生徒は96.9%で、全国や県を大きく上回っていました。

○「家の人と学校のことについてよく話をする」では、よく話しているが79.2%で全国や県を大きく上回っています。

《課題と思われる所》

○「失敗を恐れないで挑戦していますか」「困っている人を進んで助けていますか」「将来の夢や希望をもっていますか」の問いでは当てはまると答えた生徒が全国より少なかったです。

これまでの取組から

○言語活動の充実を図るため、各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動を通して、発言する機会や友達の話を聞いて考える活動を多く取り入れています。「学校で好きな授業がある」と多くの生徒が答えているのは、成果の表れだと思います。

今後の具体的な取組について

○授業の最初に学習目標を明確に伝え、目的意識をもった授業参加ができるように指導していきます。力量はあるのに、自信の無さから行動に移れないところがあるので、家庭とも連携を図りながら、自信を持って行動できるよう指導していきます。

○学校生活全体を通して、互いを認め合い、より有効な人間関係を構築し、一人ひとりの生徒を大切にする指導を心がけていきます。



ご家庭で取り組んでいただきたいこと

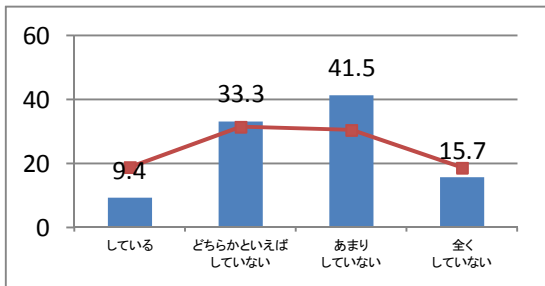
平成29年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい5つの項目」をまとめました。できることから、ぜひ、始めてみてください。

棒グラフ(青)・・・海老名中学校 折れ線グラフ(茶)・・・全国

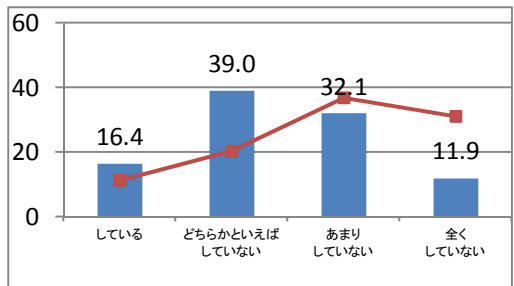
1 家庭でも意欲的に学習に取り組みましょう

家でもしっかりと意欲的に勉強しているようです。復習よりも予習に力を入れているようです。

家で学校の授業の復習をしていますか



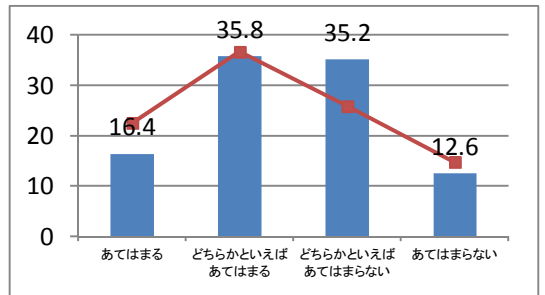
家で学校の授業の予習をしていますか



2 地域に関わりましょう

地域の行事やボランティアに積極的に参加しましょう。助け合いの精神を持ちましょう。

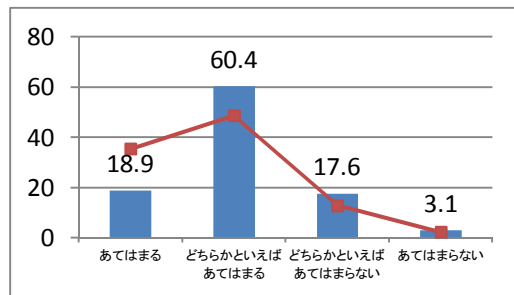
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか



3 困っている人を助けましょう

困っている人を優しく助けてあげましょう。自分が困っている時には助けてくれるはずです。

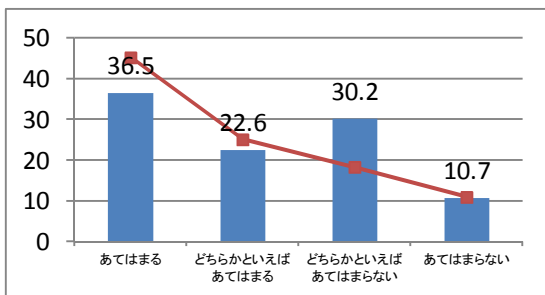
人が困っているときは進んで助けていますか



4 将来の夢や希望を大切にしましょう

将来の夢を持つことにより、日々の生活に活力が湧いてきます。

将来の夢や目標を持っていますか



5 積極的にいろいろなことにチャレンジしましょう

失敗と反省を繰り返して成長していきます。失敗を恐れて何もしないと成長しません。

失敗を恐れずに挑戦していますか

